

森里海ひと

あたらしい

つながりの歴史

上山八幡宮

神主 工藤真弓

# 十南ニ陸町民憲章

わたしたちは  
この素晴らしい町に暮らしながら  
共に成長してゆくことを願って  
ここに希望の姿をうたいます

海のように広い心で  
魚のようにいきいき泳ぎう

山のように豊かな愛で  
繭のようにみんなと包もう

空のように澄んだ瞳で  
川のように命をつなごう

大きな自然のまのひらりと  
抱かれてゐる町十南ニ陸



**東日本大震災  
発災  
2011・3・11**

**—わたしの自宅—**



震災前

# 南三陸町・志津川地区

震災後



江戸時代 このあたりは 海だった →  
歴史の中で  
埋め立てられてきた  
志津川地区 中心市街地

海に還ったところは、  
「海に還りたい」  
と、言っている。ここに  
巨大防潮堤の建設計画！



か  
ま  
め  
の  
虹  
目  
金  
議

# かもめのような視線を持って まちをつくりたい 有志の集まり

2012・5・15～

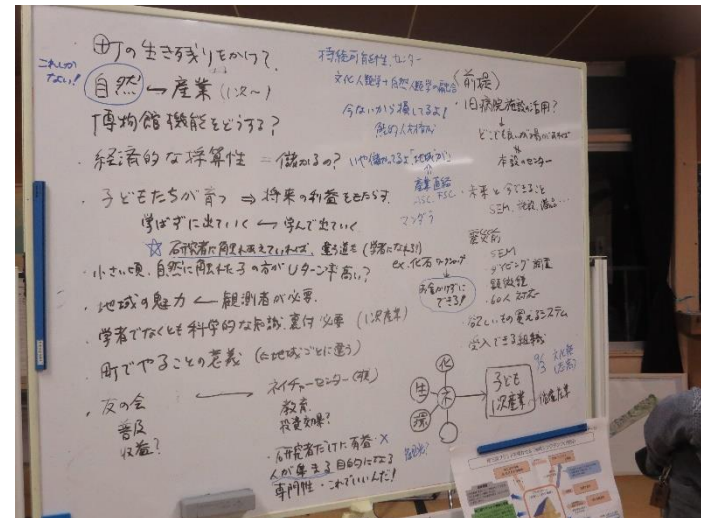
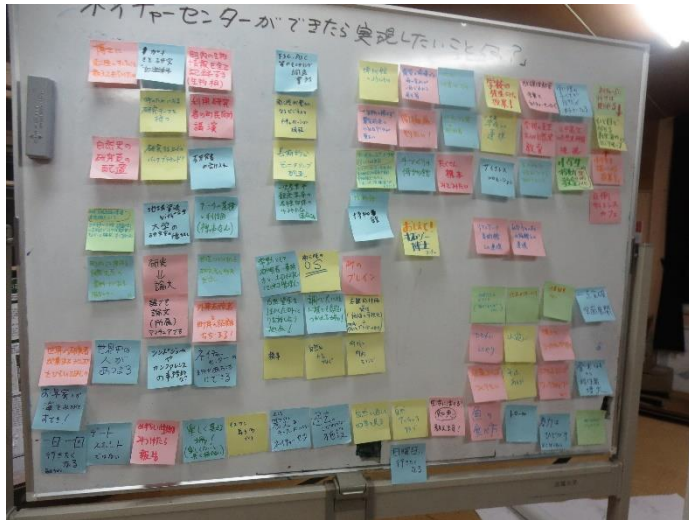
7人(虹色の数)で  
スタート!

( 通算99・6回を数える! )



# たくさんの声を重ねて

安心の場・練習の場



→公式な会議(志津川地区まちづくり協議会)を通して  
**防潮堤を**  
**セットバックしてもらおうことに!**



# 町の原点 のこる

震災遺構・地元の高校生の学びのフィールドとして・干潟のちから



# 第2次総合計画計画 まちの将来像

森里海ひと  
いのちめぐるまち  
南三陸

震災からの気づきを忘れないように



# なまごみさんを ちょきんしてね



# 毎年 7か所の保育施設で公演(企業×行政×町民)

通訳する・物語性を活かす・こどもたちという協力者に託す



いのちめぐる思いの原点



— 神さまや、人や自然、場所との仲を取り持つ —  
神主としての役割 — 仲執り持ち



2016

# 神道ーアニミズム文化

神々さま（自然）とおしゃべり（対話）の中で、今を共に助け合って生きる「仲間」としての情が生まれる  
↓対象が地球そのものへ広がる↓問題が自分事になる



震災を機に生まれた  
あたらしいつながりの歴史は  
「気づきを忘れてはいけない」という  
人々の力強い足あと

これからも  
一歩一歩  
ふみしめながら

未来のこどもたちが  
いのちめぐるまちで暮らしているよう  
活動してまいります